

市町村名	与那国町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進市町村交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	サンニヌ台景勝地整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	利便性と安全性が確保された景勝地を提供し観光客が安心して利用できる環境を整備するため、崖の崩落および塩害により危険な状態のサンニヌ台の展望台と遊歩道の整備を実施する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	30,000	—			
		(b)予算現額	38,091	—			
		(c)増減額(b-a)	8,091	—			
		(d)前年度繰越額	—	38,091			
	A. 計(b+d)	38,091	38,091				
	B. 執行済額	0	38,091				
	うち交付金充当額	0	29,120				
	次年度繰越額	38,091	0				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%				
予算の状況の説明	・増額が8,091千円発生しているが、工事費(法面石積工)の増額に伴うものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、達成状況を鑑みて適正であったと考えている。また、工事実施に伴う用地取得が困難となり、事業箇所(町有地)を変更しての事業実施となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	サンニヌ台の展望台及び遊歩道の整備	目 標	(展望台東屋1棟)	()	()	()	
		実 績	展望台東屋1棟				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	展望台の整備工事完成に伴い、利用者の安全確保及び利便性が向上された。また、整備に伴い塩害に強い資材を使用する事によって今後の維持管理等が期待される。なお、遊歩道に関しては工事に伴う用地交渉が厳しいものとなり、整備には至らなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	サンニヌ台の展望台及び遊歩道の整備	目 標	()	(展望台東屋1棟)	()	()	()
		実 績		展望台東屋1棟			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	サンニヌ台展望台の整備を実施し、利用者の利便性と安全性の確保が出来たことによって景勝地として県内及び県外へも広くPRし観光客の増加に繋げる。また、遊歩道の整備には至らなかったものの、新展望台を活用することによって利便性を高め誘客促進を図る。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・自然災害及び老朽化に伴い、景勝地であることから、利用者の安全確保及び利便性の確保が必要である。 ・塩害等今後の維持管理が必要である。	・利用者の安全確保及び利便性の確保するため整備工事を実施することでこれまで以上に利用者が安心安全に利用でき更なる観光客の増加に繋げる。 ・整備工事に伴う資材を塩害に強い物を使用することによって景観等にも努めていける。
今後の取り組み方針		
・県内及び県外で広くPRしてきた景勝地の一つでもある「サンニヌ台」を整備工事したことによって、利用者の安全確保及び利便性の確保ができ、今後さらに誘客に繋げていく。また、塩害に強い資材を使用することによって景観等維持管理に努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>38,091</td><td>38,091</td><td>29,120</td><td>8,971</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 与那国町 38,091千円 工事費 38,091千円 株式会社 崎元組 38,091千円 （サンニヌ台観光地整備工事にかかる工事費）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	38,091	38,091	29,120	8,971	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
38,091	38,091	29,120	8,971	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○請負業者及び委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○執行額に増額があったもののほぼ適正規模だと考える。										
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進市町村交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2－③	与那国町さとうきび干ばつ対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－エ	
担当部課名	総務財政課 企画班	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化	
						Ⅲ－4－(1)	
事業内容	さとうきびの安定生産を図ることを目的に、干ばつ時に備え、大型タンク散水車(15t)を購入し、干ばつ時に対応出来るよう体制を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	16,000	－			
		(b)予算現額	15,444	－			
		(c)増減額(b-a)	▲ 556	－			
		(d)前年度繰越額	－	15,444			
		A. 計(b+d)	15,444	15,444			
	B. 執行済額		0	11,440			
	うち交付金充当額		0	9,152			
	次年度繰越額		15,444	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	74.1%			
予算の状況の説明		・減額が556千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。また減額によって不用となった予算については、全体の事業予算に充当した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	大型タンク散水車購入(15tタンク車)	目 標	(2台)	()	()	()	
		実 績	1台				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・本町において、さとうきび生産は地域経済を支える重要な基幹産業であるため、自然災害等に備えた、支援体制の整備が急務であった。平成25年度に、本事業を活用して大型散水車の導入し、干ばつ対策に迅速に対応できる体制が強化された。また、大型散水車の目標であった2台について実績で1台となった要因としては、事業主体であるJA与那国支店との事業調整において決定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	大型タンク散水車購入(15tタンク車)	目 標	()	(2台)	()	()	()
		実 績		1台			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・当初では2台の大型散水車の導入を予定していたが、事業主体のJA与那国支店との事業調整において、1台の導入となった。また平成27年度より干ばつ対策に活用できるため、27年度においては、与那国町干ばつ対策協議会において、早めの対策を実施する。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	(1) 27年度から、干ばつ対策に向けた取り組みを強化したい (2) 大型車両免許の取得者の確保(オペレーター) (3) 干ばつ対策における費用の算出及び農家負担金の調整	(1) 大型散水車の活用により干ばつ被害の軽減に努める (2) 干ばつ対策協議会(会長与那国町長)で散水車及び他の車両を配置して緊急時の干ばつ対策に備える。 (3) 生産農家の利用申し込みを促進するため、作業料金一部助成する。 (4) 生産農家へ干ばつ対策の啓蒙活動を図る。
今後の取り組み方針		
今後、生産農家及び関係機関が一体となって、さとうきびの増産を目標に干ばつ対策の強化を図る。平成27年度より、干ばつ対策で散水作業の実施を予定している。与那国町干ばつ対策協議会を開催して、大型散水車の利用推進を促進し、干ばつ時に迅速な対応ができる様に体制強化する。また、田原水源地の他に、新たに水源地及び取水地を確保し、大型散水車の有効活用を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
与那国町 11,440千円 補助金 11,440千円 沖縄県農業協同組合与那国支店 11,440千円 さとうきび干ばつ対策用散水車 購入にかかる補助金 受益者負担分 (交付対象外経費) 4,004千円 (JA与那国支店負担額)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
15,444	11,440	9,152	2,288	4,004

資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農業分野における公共機関としてJA与那国支店で妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残により不用額が出たが、予算規模は適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については実績報告に応じ負担額を決定しており、妥当であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途についての額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		与那国町												
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進市町村交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】														
事業番号・事業名		9-①		与那国島歴史文化交流支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第1章－1－(4)－エ						
担当部課名		総務財政課 企画班		事業実施(予定)年度		平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所						
								伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造						
								Ⅲ－9－(1)						
事業内容		多様な観光ニーズに対応するため、与那国町の地域資源を活用した地域情報の発信施設を整備する。具体的には、台湾花蓮市と姉妹締結30年を迎えこの間の様々な交流の歩みを記録し形として残し、また、現存している与那国島の明治時代から現代までの記録写真を展示するなど、与那国島に関する多種多様な資料の整理及び展示施設を建設し、与那国島の自然以外の魅力を観光客など島内外へアピールすることを目的とする資料館及び観光の拠点施設として「与那国島歴史・文化・交流資料館」(仮称)の整備を実施する。												
実施方法		■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）												
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				25年度		25年度(繰越)		26年度		27年度		28年度		
		予算の状況	(a)当初予算額	310,000		—								
			(b)予算現額	276,812		—								
			(c)増減額(b-a)	▲ 33,188		—								
			(d)前年度繰越額	—		268,602								
			A. 計(b+d)	276,812		268,602								
		B. 執行済額		8,210		84,297								
		うち交付金充当額		6,568		67,437								
		次年度繰越額		268,602		0								
		執行率(%) (B/A)		3.0%		31.4%								
予算の状況の説明		・減額が33,188千円発生しているが、実施設計に伴い、選定用地に他事業の給食センター建設の予定があり、配置調整に時間を要した。また、隣接民間用地との境界線の確定に時間を要したため、工事着手が平成27年1月となったため年度内完了が困難となることから、基礎工事のみの実施となったため減額が生じた。												
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)			達成状況									
					25年度		26年度		27年度		28年度			
		与那国島歴史文化交流資料館の実施設計及び建設工事	目 標	(実施設計 建設工事実施)		()		()		()				
			実 績	実施設計 建設工事実施										
			目 標	()		()		()		()				
			実 績											
達成状況説明		実施設計に伴い、選定用地に他事業の休職センター建設の予定があり、配置調整に時間を要した。また、隣接民間用地との境界線の確定に時間を要したため、工事着手が平成27年1月となったため年度内完了が困難となることから、基礎工事のみを実施。また、展示企画のデザイン及び運営計画の策定を実施した。												
成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)			基準値(年度)		25年度		26年度		27年度		目標値(年度)	
		与那国島歴史文化交流資料館建設完了:1棟	目 標	()		(資料館建設 1棟)		()		()		()		
			実 績			新築工事基礎部分完成								
			目 標	()		()		()		()		()		
			実 績											
		進捗状況説明		新築工事において26年度に基礎部分が完成したため、27年度は本体工事を実施し完成を図る。さらに展示企画のデザインを受け、資料館本体における内装展示を実施するとともに、運営計画に基づいて人材育成、及び管理体制の整備を行う。また、隣接民間用地との境界線の確定に時間を要したため、工事着手が平成27年1月となったため年度内完了が困難となることから、基礎工事のみを実施となった。										

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	本事業の背景として①第4次与那国町総合計画に基づく「伝統文化を体験する場」「国際交流の推進」「与那国の伝統文化の継承」、②沖縄県津波被害調査 (H.25年3月) を受けた与那国の防災対応力を高める機能、③関連施設であるアヤマハビル館の現状から、集客力のある施設内企画と滞留時間を増やす機能が要請されている。 ・上記のうち、②については用地選定の完了を以て達成している。①および③の課題に対応するため運営計画の策定と展示企画デザインを実施した。さらにこれらの課題への取り組み状況を諮問するため、有識者、関係機関・団体などで構成する与那国島歴史文化交流資料館運営準備協議会を設立し、3回の協議を実施した。	・特に運営計画において、開館後②と③の機能を担保する施設の管理・運営組織として与那国フォーラム(仮)の立ち上げを構想したが、同構想では専門部署としての事務局を設置しておらず、事務局機能(会計・総務機能)が不十分であった。
今後の取り組み方針		
・本体工事を実施するとともに、「与那国フォーラム」(仮)の組織体制づくり、及び開館後の事業計画を策定する。特に課題となっている事務局機能の強化については、運営準備協議会の下に町内の観光、商工関連団体など共に専門の作業部会を設け、事務局体制、事務局スタッフの確保方策と雇用体制、運営組織の定款等について集中的に検討し、組織の充実を図る。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
与那国町 92,507千円 委託料 60,107千円 工事費 32,400千円 株式会社 水圏科学コンサルティング 沖縄支店 8,211千円 株式会社 城 建 28,190千円 株式会社 水圏科学コンサルティング 沖縄支店 15,498千円 株式会社 イルミナティ 8,208千円 仲島建設 株式会社 32,400千円 (与那国島歴史文化交流資料館基本構想・基本計画策定業務にかかる委託) (与那国島歴史文化交流資料館新築工事業務委託(建設設計・監理にかかる委託)) (与那国島歴史文化交流資料館運営計画策定等業務にかかる委託) (与那国島歴史文化交流資料館展示企画デザイン業務にかかる委託) (与那国島歴史文化交流資料館新築工事にかかる工事)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		92,507	92,507	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		74,005	18,502	
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者及び委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行額に減額があったもののほぼ適正規模だと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		